

〈資料・情報〉

国語学会・国立国語研究所編著

『フロッピー版・日本語研究文献目録（雑誌編）』

国語学会と国立国語研究所との共同事業である「国語学研究文献総索引」の第一次の成果が発行されました。

「日本語研究文献目録（雑誌編）」のフロッピー版です。昨年の秋季大会でデモンストレーションを行い、本年の春季大会でその見本を展示いたしました。ご存じと思いますが、内容や、その使い方について、あらためて詳しくてくれました。一層の御理解と御協力をお願いいたします。
 （編集委員会）

国語学界は、一九五四年以来、刊行が続いている「国語年鑑」のおかげで、研究情報の面では、たいへん恵まれていたといえよう。しかし、その国語年鑑も、すでに三十数冊を数え、論文の検索を思い立っても、お目当ての論文を探し出すのは容易ではない。そのうえ、近年の日本語研究の発展は、研究情報の飛躍的な増大をもたらした。

そこで、国語学会は、国立国語研究所と共同で、一九八三年から、研究文献目録の作成事業を進めてきた。このたび、その最初の成果として、国語年鑑の昭和二十九年版から六十年版までの、三十二冊分

の雑誌論文目録、約八万五千件を、フロッピー・ディスク十二枚に収録した「日本語研究文献目録」が、検索プログラム・ディスク一枚つきで刊行された。

内容は、雑誌論文名を、「国語学一般・国語史・表記・音韻・文法・待遇表現・文章・文体・方言・言語生活・国語問題・日本語情報処理・日本語教育・言語学・国語教育」などの諸分野別に分類配列したもので、各論文については、題名・執筆者名・掲載誌名・発行年月・ページ数が記録されている。

検索プログラムは、論文題目に出てくる用語（文字列）・執筆者名・掲載誌名・発行年月をキーとして検索し、検索の結果をディスプレイに表示するとともに、プリントまたは、フロッピー・ディスクに出力するプログラムである。

フロッピー・ディスクは、すべて1MBのディスクで、5インチ版か3.5インチ版かの、いずれかのセットを選ぶことができる。1セットは、論文データのディスク十二枚と、検索プログラムのディスク一枚の計十三枚のフロッピー・ディスクからなっている。

検索に使うコンピュータは、入出力ソフト・ウエアのMS・DOSを使えるパーソナル・コンピュータならば、いずれの機種のコピータでも検索可能である（フロッピー・ディスクのドライブが、二つ以上ある機種が望ましい）。

以上が、このたび刊行した、国語学界、初のデータ・ベース「日本語研究文献目録（雑誌編）」の概要であるが、このデータ・ベースの最大の特徴は、コンピュータにさわったことのない人でも、十分に、検索作業が可能なことである。電源を入れて、フロッピー・ディスクをセットしたら、あとは説明書（マニュアル）にしたがって、

ボタンを押していけば、ほぼ、まちがいはなく、必要な検索を進めることができる。また、途中で中止しても、データやプログラムがこわれることはない。

ただし、購入して、最初の一回だけは、マニュアルの手順にしたがって、検索システムに、MS・DOSを組みこむ作業をする必要がある。この作業の時だけ、MS・DOSを扱った経験のある人に手助けしてもらうことを、お勧めする。

購入したセットの中には、十三枚のフロッピー・ディスクと説明書のほかに登録カードが一枚はいつている。この登録カードは、必ず投函していただきたい。今後、データの訂正やプログラムの補正などのサービスは、この登録カードに基づいて行なう予定である。

なお、今回のデータ・ベースは、フロッピー・ディスクを使用しているために、ディスクにまたがって検索する場合、ディスクのさしかえが面倒である。論文データをハードディスクに収めて、能率のよい検索をしたいという利用者もあることと思うが、こうした利用法を妨げるような措置は、一切採用していない。また、利用者が、必要とする研究分野のデータのみをピック・アップして、コンパクトな個人用データ・ベースを作成したり、新しい論文データを付加したりすることも可能である。データ形式は、MS・DOSのテキスト・ファイルである。

（国語学研究文献目録作成委員会 実行委員長 田中章夫）

（平成元年七月発行 秀英出版 フロッピーディスク十三枚五インチ版、三・五インチ版の両種 二〇、六〇〇円へ本体 二〇、〇〇〇円）